

2015-23-2 サル 結腸

病理ユニット 辻まりこ

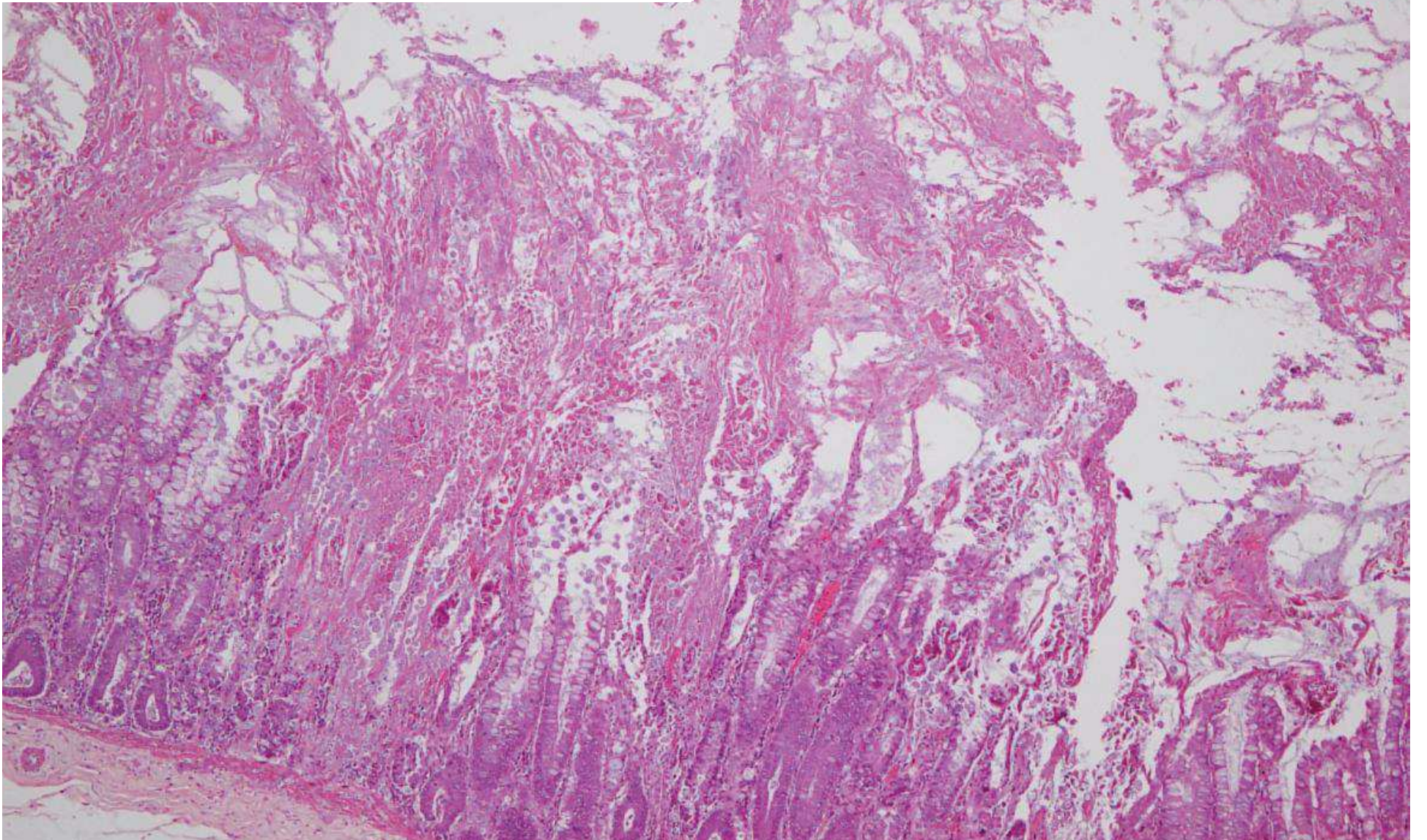
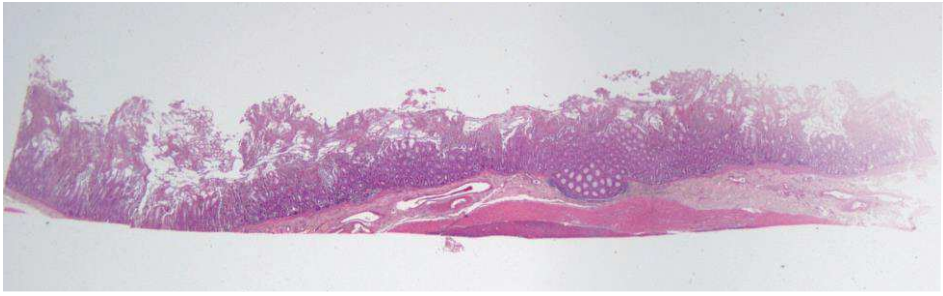
- ◆ 患 畜：サル（コインブラティティ）、雄
- ◆ 提出機関：ミナス・ジェライス連邦大学（ブラジル）
- ◆ 病 歴：ブラジル、ベロ・オリゾンテの動物園の飼育個体
疲弊、低体温の状態で見
輸液、副腎皮質ステロイド、加温等の治療を行ったが、ほどなく死亡
- ◆ 肉眼病変：腸間膜リンパ節の出血
結腸は拡張し 漿膜面が多巣性に出血
結腸内容には出血と線維素性の
滲出物が認められた
肝臓の小葉パターンの明瞭化
腎臓および副腎は中等度にくっ血

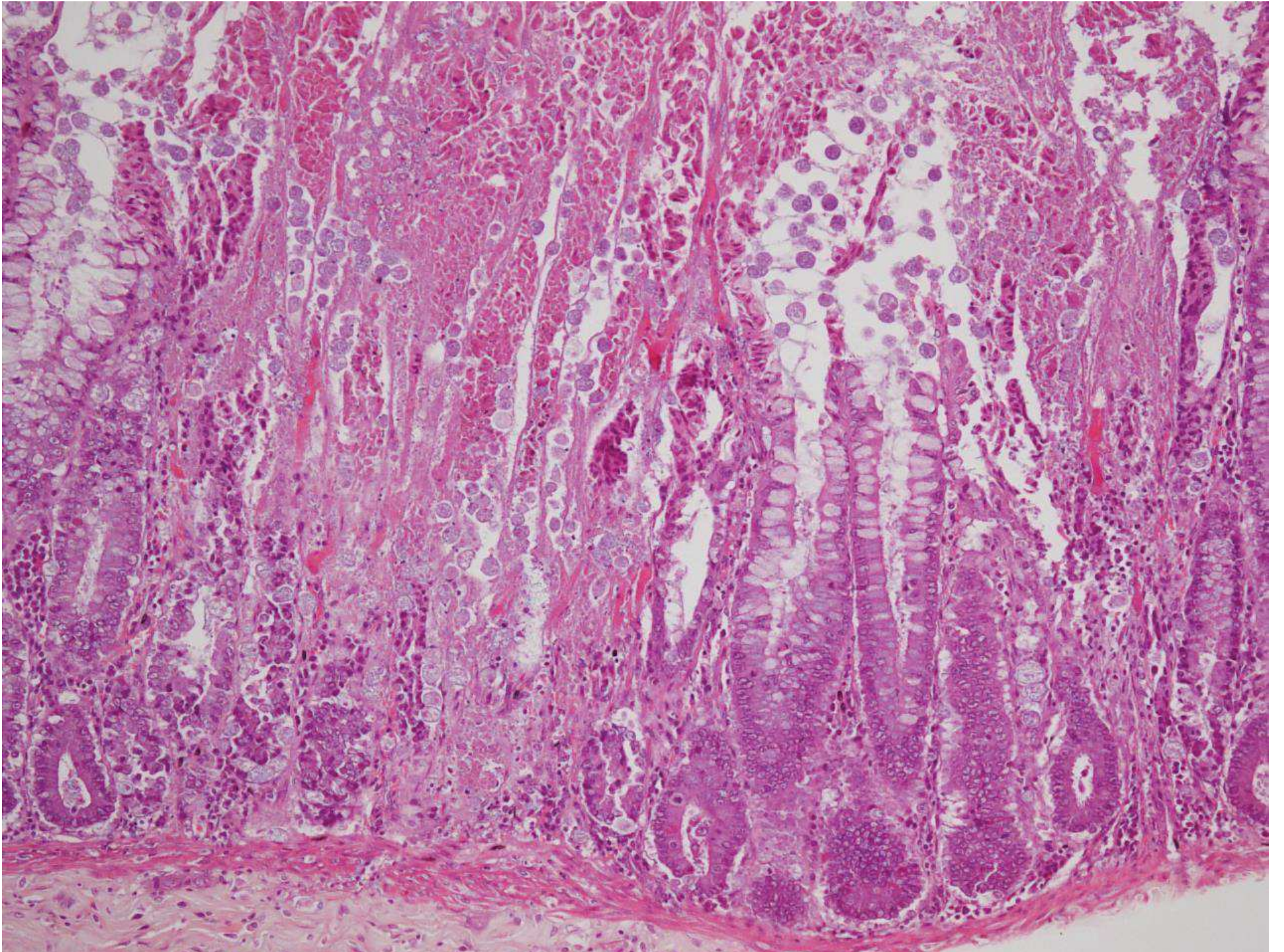


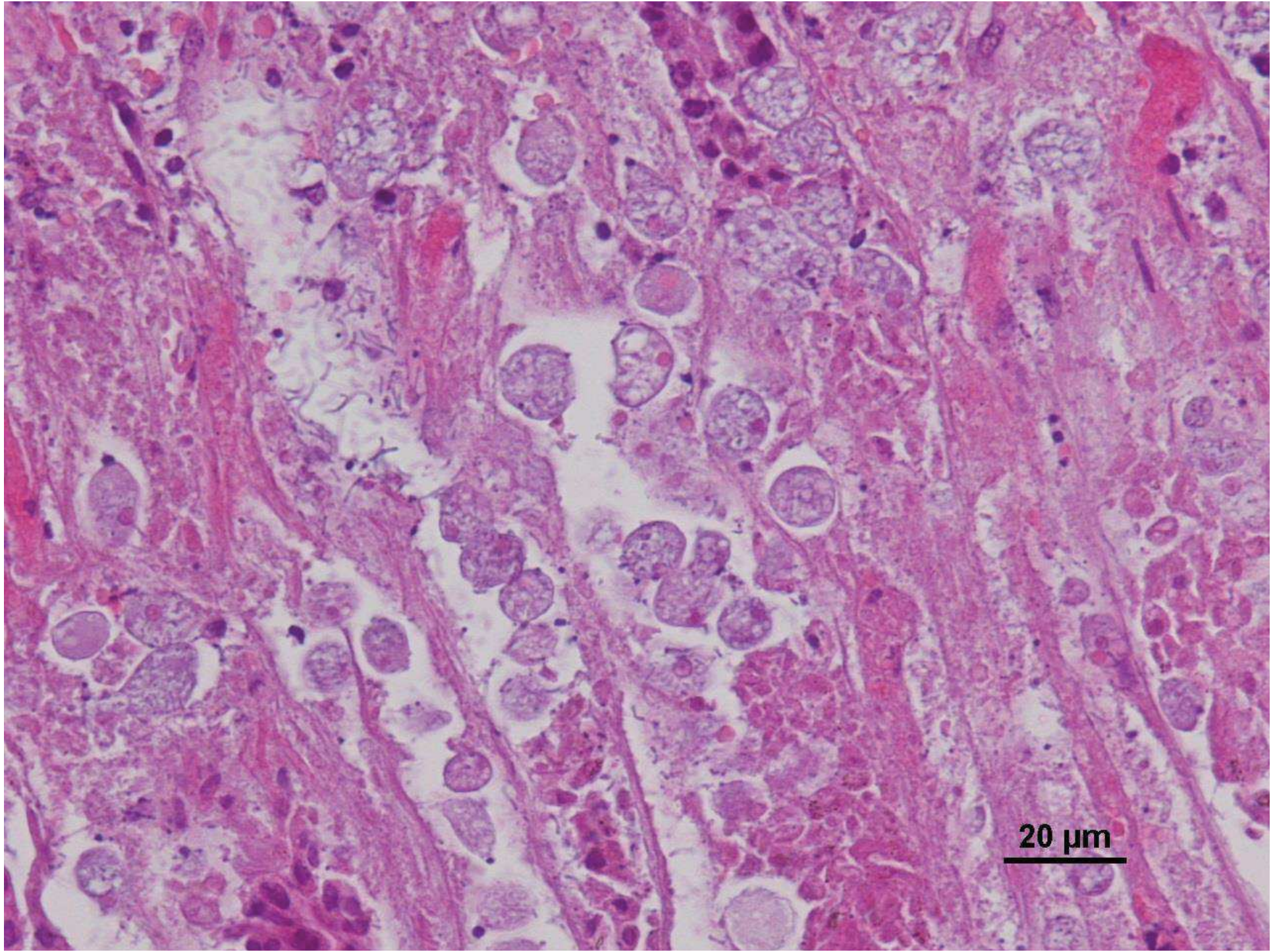
引用：<http://www.globalspecies.org/ntaxa/948172>



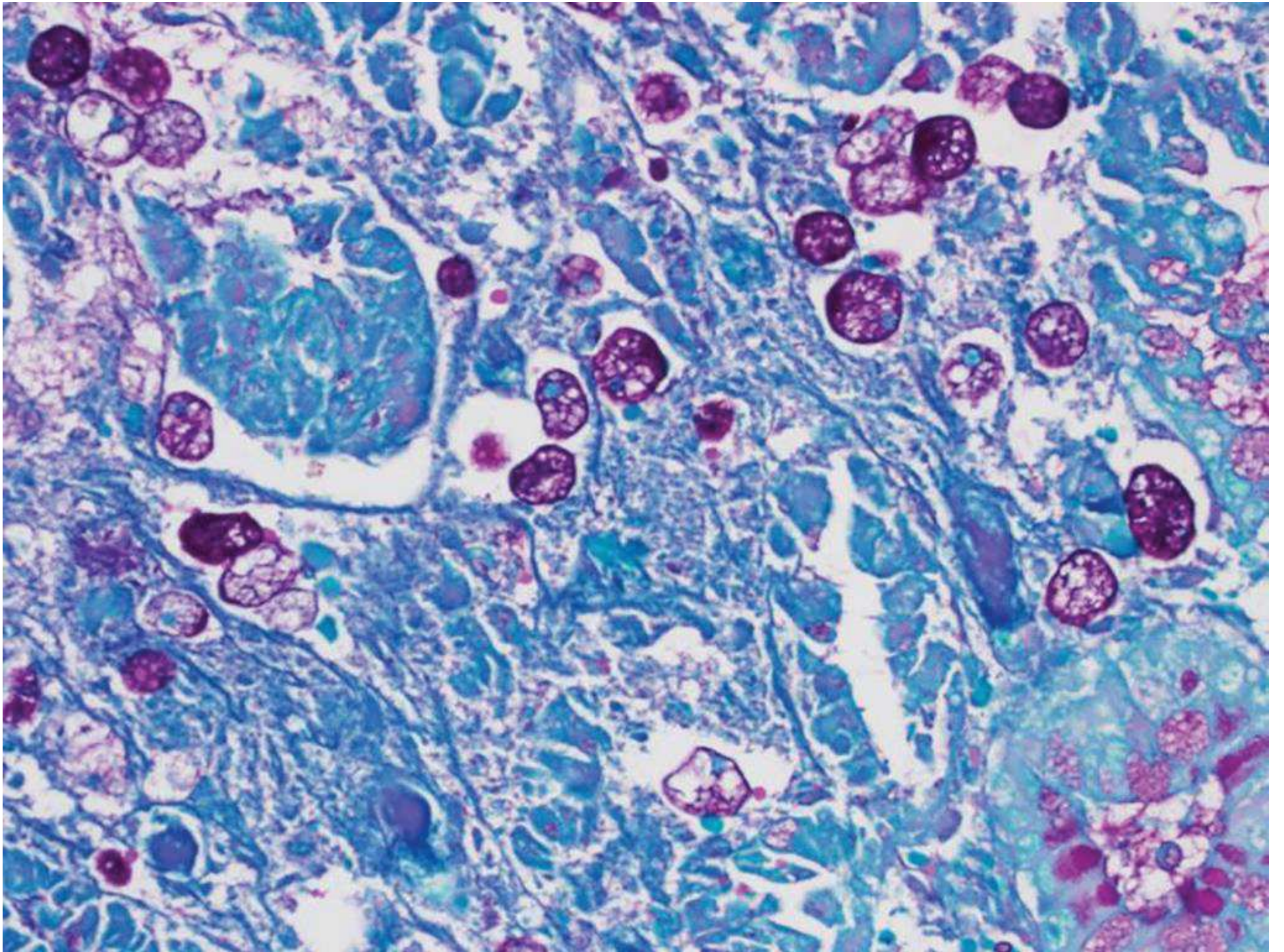


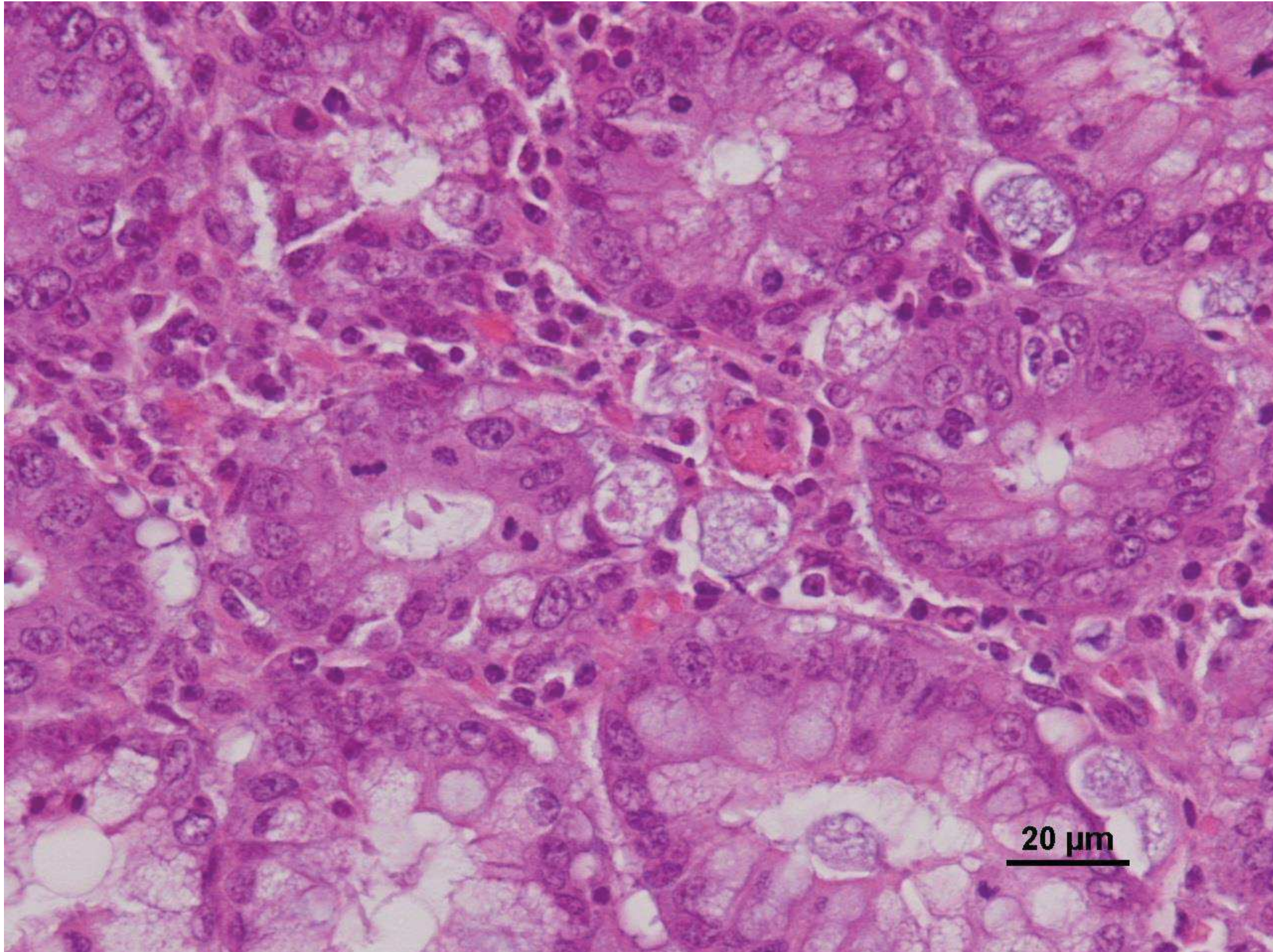


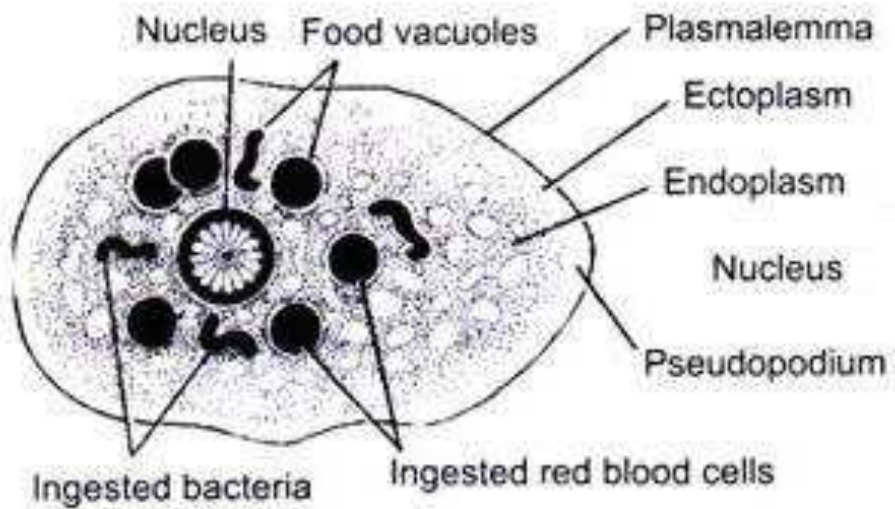
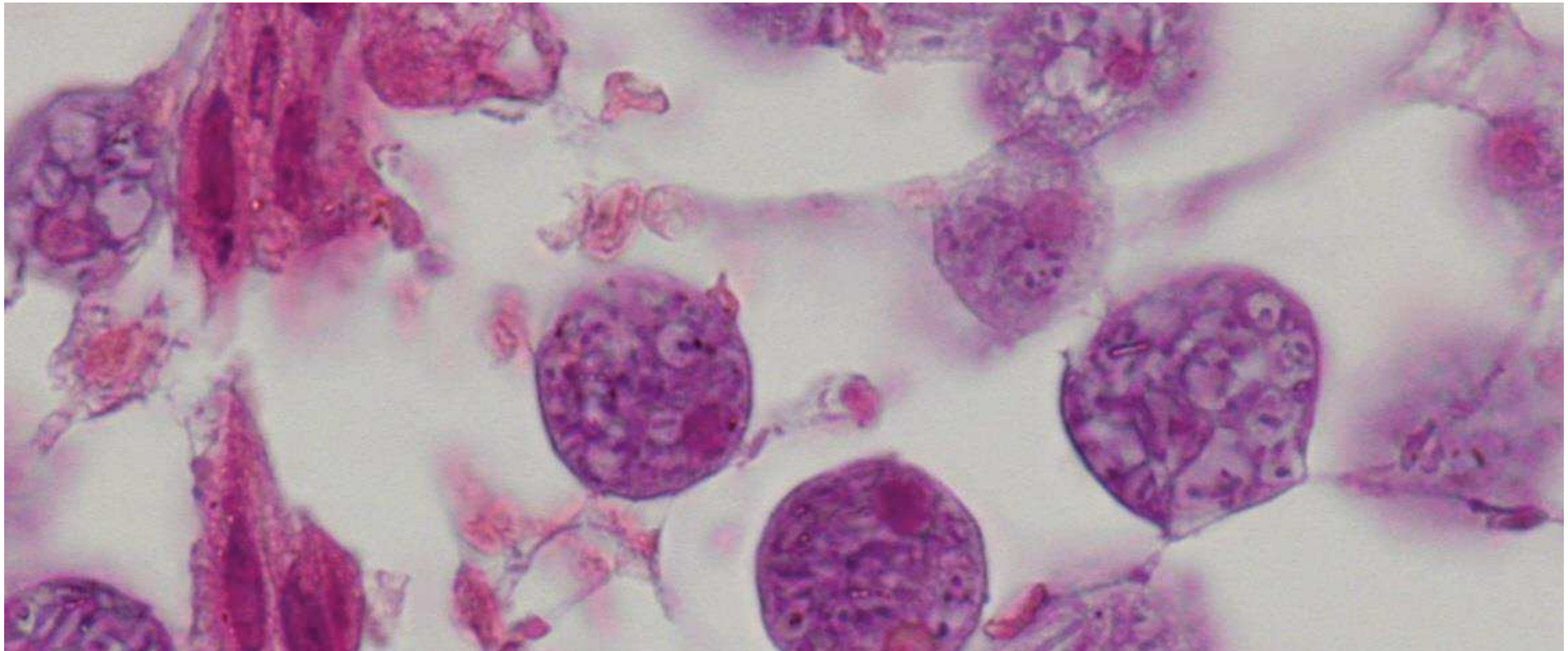




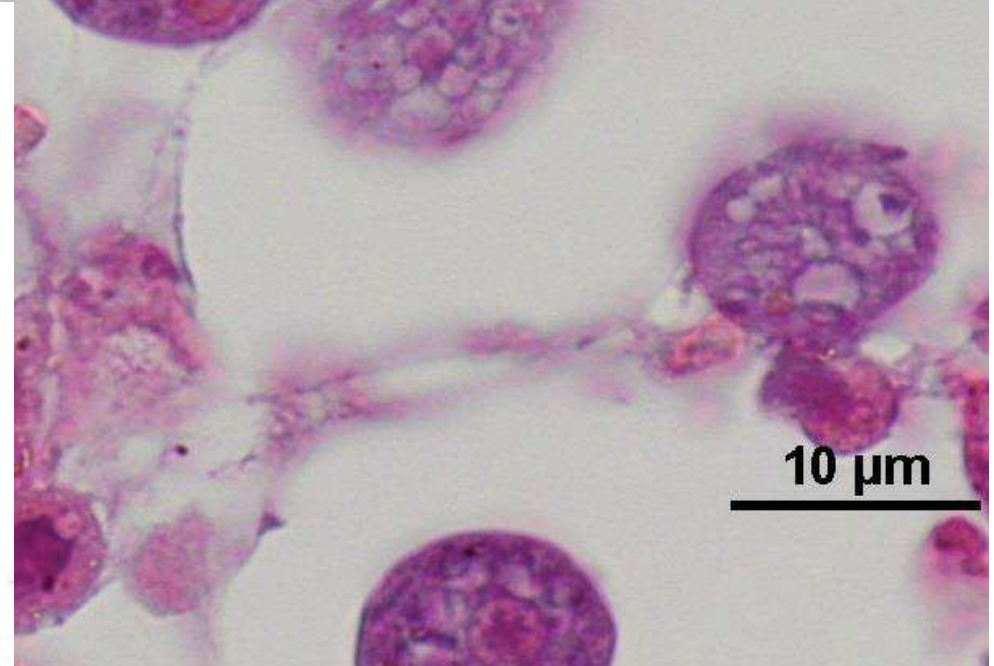
20 μm



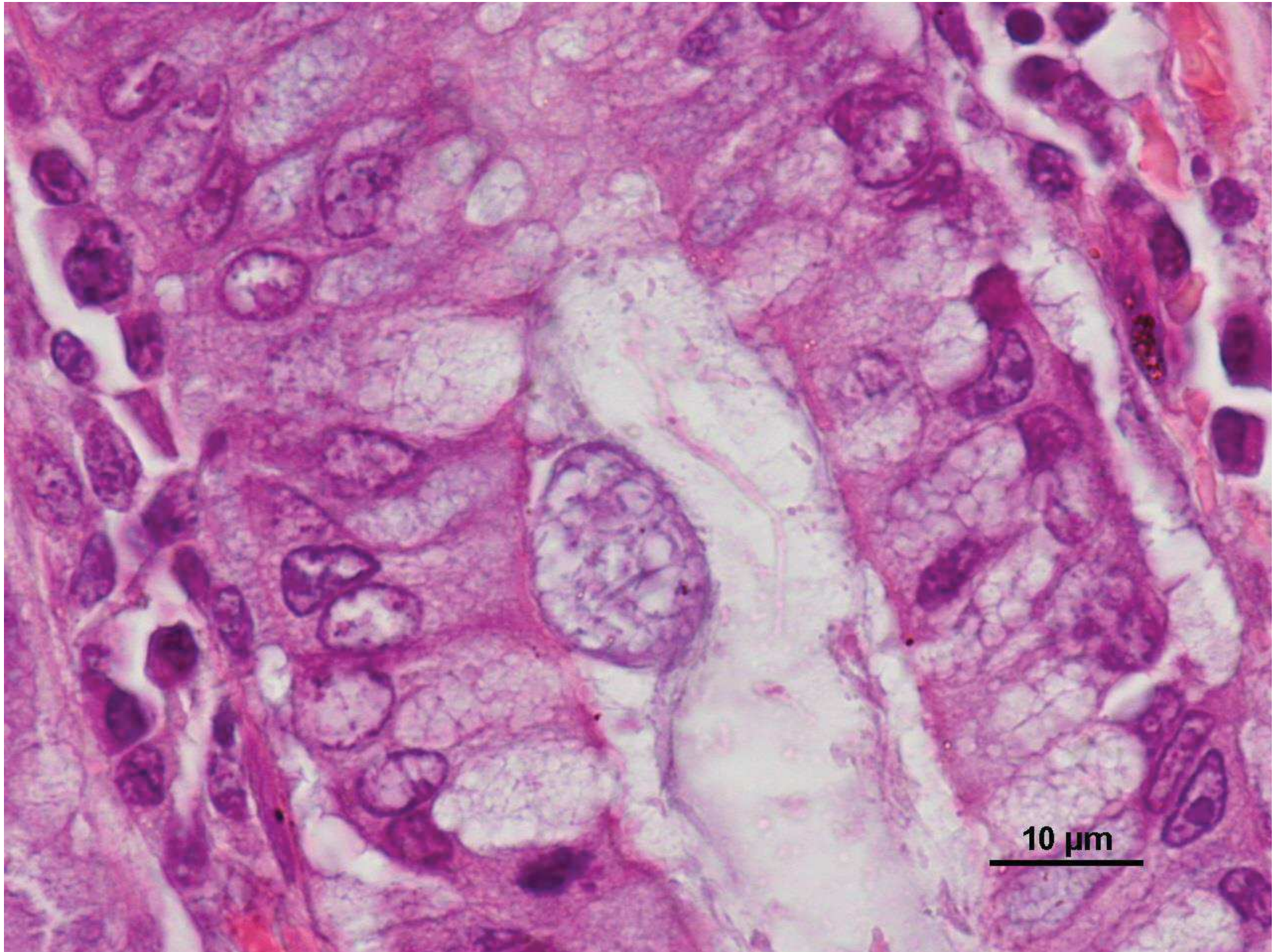




A-Trophozoite Form



10 µm



提出者の診断

大腸、結腸：結腸炎、壊死性、出血性、急性、多巣性から癒合性の、重度、赤痢アメーバと一致する多数の原生動物を伴う

Large intestine, colon: Colitis, necrotizing, hemorrhagic, acute, multifocal to coalescing, severe with numerous protozoal organisms consistent with *Entamoeba histolytica*.

JPCの診断

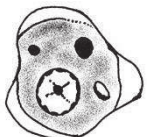


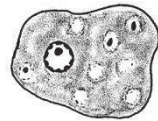

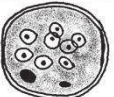



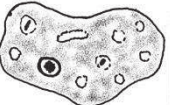
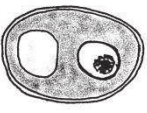
結腸：結腸炎、壊死性、急性、多巣性、広範な、顕著な、陰窩膿瘍、杯細胞の消失および多数のアメーバのトロフォゾイトを伴う

Colon: Colitis, necrotizing, acute, multifocally extensive, marked with crypt abscesses, goblet cell loss and numerous amoebic trophozoites.

提出者のコメント

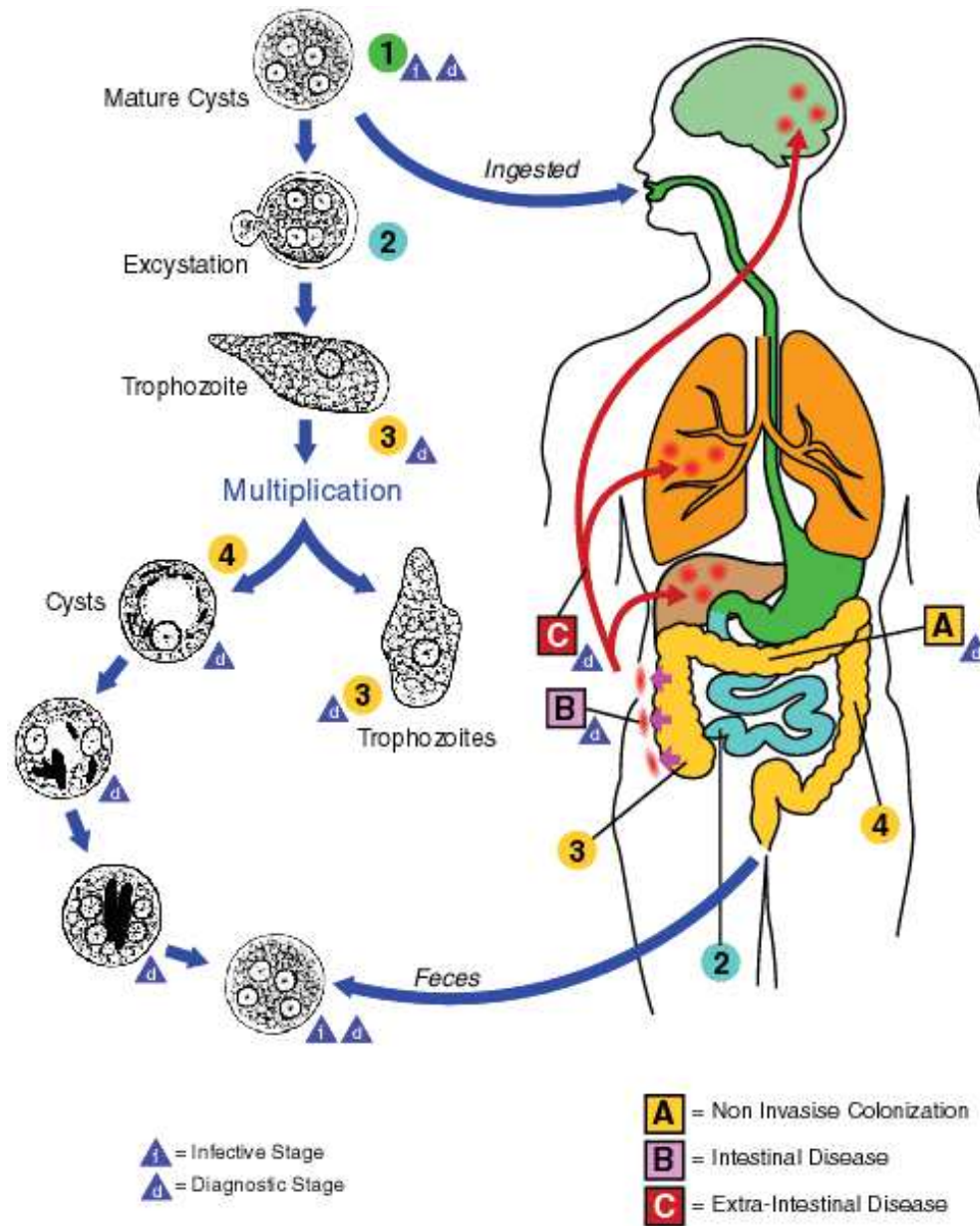
アメーバ赤痢

- ◆ 根足虫綱エンドアメーバ科に属する原虫である *Entamoeba histolytica* による人獣共通感染症
- ◆ 腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症に大別
 - 腸管アメーバ症：**
下痢、粘血便、しぶり腹を伴う慢性腸管感染症
典型的には イチゴゼリー状の粘血便 を排泄
 - 腸管外アメーバ症：**
腸管部よりアメーバが血行性に転移することにより、肝臓、肺、脳に膿瘍を形成
- ◆ 衛生状態の悪い発展途上国で発生が多く、年間70,000人が死亡（原虫症の死因では4番目）
- ◆ 生活環は **トロフォゾイト**（栄養体）と感染力を持つ **シスト**（嚢子）の二形態
- ◆ *Entamoeba dispar* に形態学的に類似
→ 非侵襲性で、無症候性感染

Organism	Trophozoite	Precyst	Cyst
<i>E. histolytica</i> <i>E. dispar</i> <i>E. moshkovskii</i>			
<i>E. coli</i>			
<i>E. hartmanni</i>			
<i>I. bütschlii</i>			

引用： Mehmet Tanyuksel, and William A. Petri Jr. Clin. Microbiol. Rev. 2003;16:713-729

提出者のコメント

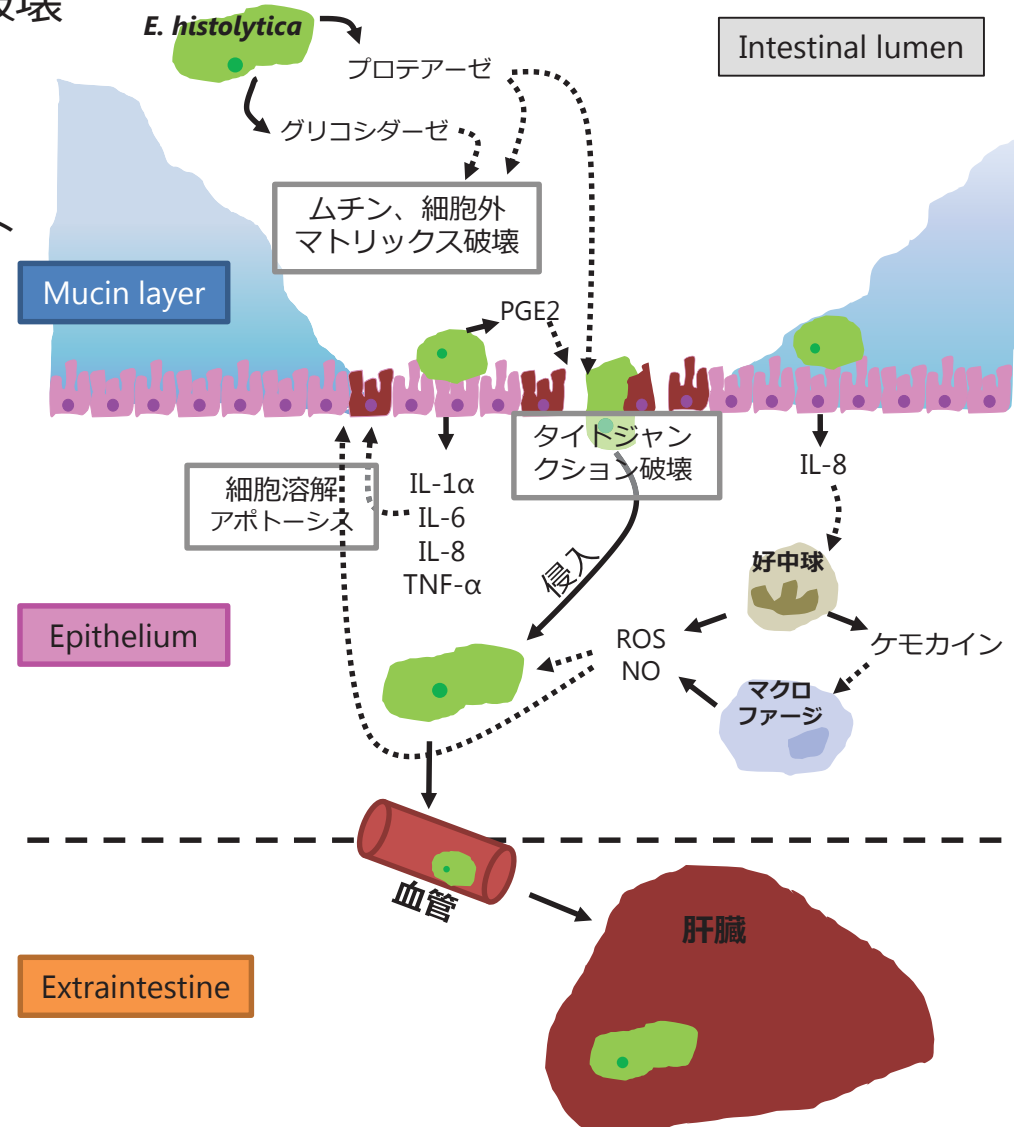


引用 : <http://www.microbiologybook.org/parasitology/intest-protozoa.htm>

会議のコメント

*E. histolytica*による病理発生メカニズム

- ①プロテアーゼを放出し、ムチン層を破壊
- ②プロテアーゼ、PGE2を放出し、タイトジャンクションを破壊
- ③腸細胞の表面に接着し、炎症性サイトカインの放出を誘導
→細胞溶解、アポトーシス
- ④腸細胞によるIL-8の放出を誘導し、感染部位に好中球を引きつける
- ⑤好中球から放出されるROS、オキシダーゼ、プロテアーゼにより組織傷害が引き起こされる
- ⑥好中球はケモカインを放出し、マクロファージを誘導する
→NO、ROSやTNF- α を放出し、更なる組織傷害を引き起こす
- ⑦血管やリンパ管に至り、肝臓、肺、脳に感染する



会議のコメント

その他の動物での感染報告

◆ カンガルー、リーフモンキー、コロボス：*E. histolytica* 随伴性胃炎

- ・トロフォゾイトは粘膜や胃腺に認められる
- ・血管やリンパ管を含む粘膜下組織まで浸潤することがある

◆ 犬、猫：壊死性潰瘍性大腸炎

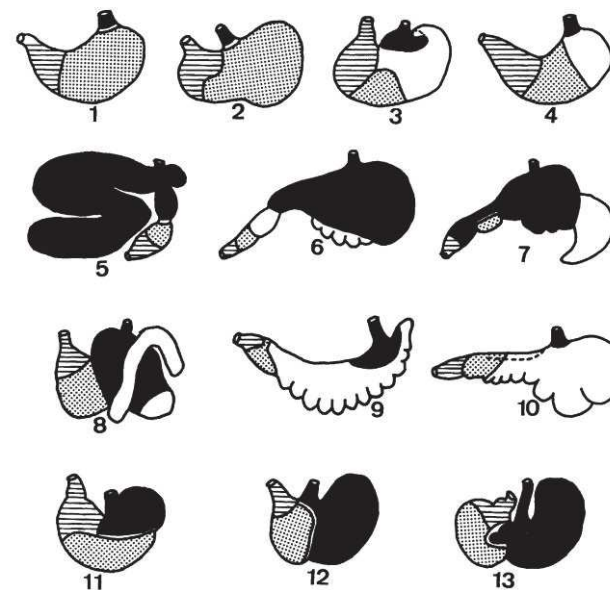
- ・猫で特に重度
- ・感染した犬が伝染性のシストを排出することはまれ



引用：<https://ja.wikipedia.org>



引用：<http://www.factzoo.com>



哺乳類の胃粘膜

図1. イヌ, ネコ, ジャコウネズミ, マーモセット, リスザル, ヒト 図2. ウサギ
 図3. プタ 図4. マカカ, ヒヒ 図5. ウシ, ヒツジ, ヤギ, 図6. ラクダ
 図7. ナマケモノ 図8. ベッカリー 図9. カンガルー 図10. リーフモンキー
 図11. ウマ 図12. ラット, マウス 図13. ハムスター

■ 重層扁平上皮
 ■ 噴門腺粘膜
 ■ 胃底腺粘膜
 ■ 幽門腺粘膜

引用：鈴木一憲・永井廣（1984）哺乳類の胃の比較形態 岡山実験動物研究会報 2, 20-24.